

公益社団法人 むさし府中青年会議所 2019年 理事長所信

第 50 代理事長 山村 憲太郎

公益社団法人むさし府中青年会議所は、本年度で創立 50 周年という節目を迎えることが出来ました。1970 年 5 月、経済発展途上の中、むさし府中青年会議所は「明るい豊かな社会の実現」を掲げて創立され、約 320 名の先輩諸兄姉たちの手によって受け継がれながら、今日まで運動を続けてきました。この節目となる年を迎えるに当たり、半世紀もの間、当会議所を守り育て、運動を発展させていらっしやいました先輩諸兄姉の皆様に、心から敬意を表するとともに、深く感謝を申し上げます。

私たちの街、府中は、大化の改新より武蔵国の中心地として発展してきました。国内の祭務を総轄する場所としての役割を果たしていたのは 1900 年以上もの歴史のある大國魂神社、天然記念物にも指定された堂々たるケヤキが続く並木道。このケヤキの「緑」は、府中のシンボルカラーとして、街のあちこちを彩っています。府中は市制施行 60 余年が経ち、約 50,000 人だった人口も、現在は約 260,000 人と増加の一途をたどりました。府中駅前の再開発も完了し、2017 年度に完成したルシーニュは、商業施設だけでなく地域活動の拠点としても市内外の人々に活用されています。市内には、日本を代表する競馬場の一つである東京競馬場や、サントリー、東芝、NEC 等の大手企業が存在し、人口に表れる数字以上に、多くの人々が府中を訪れ、府中を活性化しています。古き良き伝統・文化と、新しい魅力を混在させながら、時代と共に進化し、その魅力を溢れさせているのが、府中という街です。この街を、さらにより良くしていくために、本年度、公益社団法人むさし府中青年会議所は以下の 3 点について重点的に取り組んでいきます。

●「第 48 回東京ブロック大会むさし府中大会」の開催

●青少年健全育成事業の実施

●会員の成長、増強

1、「第 48 回東京ブロック大会むさし府中大会」の開催

この魅力ある府中を発信する為に、東京ブロック協議会最大の運動発信の場である「第 48 回東京ブロック大会むさし府中大会」を設立 50 周年の記念事業として開催致します。東京ブロック大会には、「主催者益」、「地域益」、「参加者益」、「主管益」の 4 つがあるとされています。東京ブロック協議会の運動発信のみならず、府中という街の魅力の発信、参

加いただいた方への還元、そして主管する公益社団法人むさし府中青年会議所会員及び組織の強化と、全てが相互協栄の関係となるよう、一丸となって進めて参ります。

「第 48 回東京ブロック大会むさし府中大会」の開催に当たっては、関係諸団体や地域市民の皆様と協働することにより、青年会議所運動をより深く知って頂き、地域における関係を深めて参ります。当会議所主催のフードフェスタや、地域団体が主催する事業と、この「第 48 回東京ブロック大会むさし府中大会」を同時開催することにより、地域財産を活用した府中の街の活性化に繋げていきます。

2、青少年健全育成事業の実施

1964 年に開催された東京オリンピックが、半世紀ぶりとなる 2020 年に再び開催されます。スポーツは心身の健やかな発達を促すとともに、それを通じて克己心や自己責任、フェアプレーの心を身に付けることができます。また、仲間や指導者との交流を通じて、コミュニケーション能力や他人に対する思いやりを育むなど、青少年の健全育成に重要な役割を果たしていることから、子供たちが日常生活の中で気軽にスポーツに親しむことのできる環境づくりが求められます。本年度はオリンピックに向けて子供たちの心を弾ませるようなスポーツの機会の提供を行います。

子供たちは地域の大切な財産です。子供たちが、ここ府中の街を足掛かりに心身ともに豊かに成長し、生まれ育った街を愛し、誇りに思ってもらうためにも、我々責任世代の青年が、子供たちに背中を見せていく必要があります。地域に子供たちを支える土壌があればこそ、子供たちが無限の可能性のある将来を夢見ることができます。この府中で満ち足りた子ども時代を過ごすことで郷土愛が育ち、世代循環型の府中が作られていくと考えます。

3、会員の成長、増強

青年会議所は、「明るい豊かな社会の実現」をモットーに、奉仕、修練、友情の 3 信条の基、活動を行っています。これは、社会貢献活動に仲間と一生懸命取り組むことを通じて、自然と自己啓発されていく青年会議所独自のスタイルとなっています。青年会議所の会員は会議や役職を経て、「俊敏な行動力」、「機密な計画性」、「人を動かす力」など様々な力を身に着け、成長を遂げていきます。このような成長の機会を得た、青年経済人が 40 歳で卒業をし、培われた友情というネットワークを駆使しながら、地域の未来のために「他人事」ではなく「自分事」として行動する貴重な人材として、街の発展へ貢献していきます。

青年会議所は無限の可能性を秘めており、先輩諸兄姉より脈々と受け継がれてきたこの人材育成システムは他に類を見ないものですが、残念ながら人口は増加しているのにもかかわらず、会員の数は減少し続けている状態です。府中の未来を共に背負っていく同世代の仲間を増やしていくためにも、100 名 LOM の復活を目指して、青年会議所の存在価値を確立し、ブランディング化を行い、会員拡大を急務として取り組んでいきます。

そのブランディング化の手法として、本年度は SDGs に注目したいと考えています。持続可能な地域の課題解決に当たるため、SDGs の 17 の項目による視点から、私たち自身の目標を定めて推進を行います。地域特性に合った社会基盤の形成を目指し青年会議所のブランディング化を図ります。

スローガン

未来永劫～History, and to the future ahead～

本年度、この創立 50 周年という節目において、公益社団法人むさし府中青年会議所は「未来永劫」というスローガンを掲げました。歴史と伝統を大事にしながらも、時代の流れに沿った変革を常に行い続けることで、明るい豊かな社会に続く未来を作ってゆけるものと考えています。この先の 100 周年には、さらに地域に必要とされる青年会議所となっていることを目指して、一步一步、運動を進めて参りますので、どうぞよろしく願いいたします。

<基本方針>

- 1、50 周年の節目を共に運動していくメンバーの士気高揚。
- 2、地域と協働した「第 48 回東京ブロック大会むさし府中大会」の開催。
- 3、スポーツや地域財産を生かした青少年健全育成事業。
- 4、地域で活躍できる青年経済人としてのメンバーの育成。
- 5、青年会議所の存在価値の確立と SDGs を用いたブランディング化。